

**平成 27 年度
第 1 回新居浜市地域包括支援センター運営協議会
次 第**

＜日 時＞ 平成 27 年 7 月 9 日（木）

13 : 30 ~ 15 : 00

＜場 所＞ 市役所 3 階 応接会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 平成 26 年度地域包括支援センター事業実施報告について
- (2) プロポーザルの審査結果について
- (3) 事業の進捗状況について
- (4) ブランチの見直しについて
- (5) その他

3 閉 会

【資料】

- 1 平成 26 年度新居浜市地域包括支援センター事業実施状況
- 2 平成 26 年度新居浜市地域包括支援センター運営に関する決算内訳書
- 3 平成 27 年度プロポーザルの審査結果について
- 4 平成 27 年度事業の進捗状況について
- 5 ブランチの見直しについて

地域包括支援センター事業実施状況

事業	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考	
指定介護予防支援事業										
新予防給付										
要支援者との契約件数	1,378件	495件	398件	480件	590件	625件	603件	687件	包括支援センター（131件）、委託（556件）	
プラン件数	7,791件	13,675件	13,320件	12,284件	12,466件	14,677件	15,979件	17,415件	包括支援センター（6,027件）、委託（11,388件）	
地域支援事業										
介護予防事業										
特定高齢者施策事業										
特定高齢者把握事業	1,262人	464人	705人	1,098人	1,538人	1,550人	5,544人	12,906人	特定高齢者：3,632人（健診受診：22人）	
特定高齢者通所介護予防事業	46人	48人	51人	46人	56人	69人	109人	192人	運動機能向上及び口腔機能向上	
一般高齢者施策事業										
介護予防教室	16回	15回	16回	16回	40回	35回	48回	72回	参加者：120人 参加延人数：1,420人	
サロン講師派遣	—	10回	10回	16回	21回	23回	26回	38回	参加者：1,217人	
ボランティア養成講座	2回	3回	参加者：106人（ふれあい・いきいきサロン世話人他）							
高齢者福祉センターの健康・介護相談	—	—	—	12回	12回	12回	12回	12回	川西・川東・上部高齢者福祉センター各4回（165人）	
笑いの介護予防促進事業	介護予防教室	—	14回	14回	14回	14回	14回	14回	笑いの健康効果評価のための講座（泉川・新居浜各7回）	
	講演会	1回	3/18（笑いサミット311人、文セン大ホール）							
介護支援ボランティア事業／H27からシルバーボランティアポイント助成事業								113人	登録者数113人 登録施設61施設	
介護保険（介護予防）パンフレット	—	1,050部	1,100部	1,900部	2,500部	6,000部	3,000部	—		
総合相談支援事業										
地域包括支援センター相談受付け	431件	482件	330件	590件	901件	910件	852件	955件		
※継続支援ケース	192件	208件	159件	196件	283件	300件	252件	256件		
ランチ相談受付け	2,892件	4,056件	2,924件	3,070件	2,492件	2,268件	1,944件	1,826件		
ランチ訪問調査	—	1,483件	1,456件	1,447件	1,466件	1,453件	—	—	H25から基本チェックリスト未回収者訪問調査業務に変更	
ランチ連絡会	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	毎月1回開催、事業実施状況の報告、情報交換等	
ランチとの学習会	11回	12回	地域ケアネットワーク検討、事例検討他							
地域ケアネットワーク推進協議会	61回	62回	66回	64回	66回	61回	66回	63回	18校区	
権利擁護事業										
高齢者虐待相談件数	16件	13件	22件	37件	36件	29件	17件	15件		
成年後見制度に関する相談事例	14件	22件	14件	20件	16件	31件	33件	43件		
認知症サポーター養成事業	養成人数	79人	580人	722人	977人	1,202人	1,537人	1,126人	2,442人	うち、小・中学生サポーター968人養成
	講座数	1回	23回	36回	25回	32回	27回	28回	35回	うち、小・中開催校（小学校10校・中学校3校）
キャラバン・メイトフォローアップ研修			1回		1回					
権利擁護関係パンフレット	5,000部	5,000部	6,000部	7,300部	1,500部	1,500部	350部	5,500部	認知症啓発パンフレット（5,000部） 消費者トラブル見守り啓発パンフレット（500部）	
包括的継続的ケアマネジメント										
介護支援専門員研修会	3回	3回	4回	4回	5回	5回	7回	7回	6/25 地域包括ケアシステム構築に向けた医療と介護の連携（135人） 7/18 認知症の方のケアプランの立て方（34人） 8/22 ケア会議について（29人） 9/11 会議を有効な場にするための考え方とスキルを身につける（104人） 9/12 認知症について（77人） 11/13 利用者家族や居宅介護支援専門員との連携について（13人） 2/17 新しい総合事業における介護支援専門員の役割とこれからのケアプラン（136人）	
介護支援専門員連絡協議会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	6/25総会（出席209人）	
その他事業										
家族介護教室	43回	46回	47回	40回	—					
介護相談員派遣事業	延べ470人	延べ435人	延べ530人	延べ515人	延べ475人	延べ535人	延べ645人	延べ608人	グループホーム：24、老健：3、特養：7、小規模特養6	
高齢者生きがい創出事業								4事業	お手玉教室、けん玉教室、高齢者マジシャン構成講座 落語教室	
在宅介護支援啓発事業								4事業	地域交流サロン運営、「死生観」参加型劇の講演、 認知症と家族の集い、傾聴ボランティア事業	

平成26年度 新居浜市地域包括支援センター運営に関する決算内訳書

1 介護保険事業特別会計

<歳入>

(単位 千円)

地域 支援 事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	国庫支出金	介護予防事業費25% 包括的支援事業費・任意事業費39.5%	47,669 (48,856)	43,632	4,037	43,787
県支出金	介護予防事業費12.5% 包括的支援事業費・任意事業費19.75%	23,832 (24,426)	21,814	2,018	21,891	
支払基金交付金	介護予防事業費29%	12,112 (12,111)	9,171	2,941	7,939	
保険料	介護予防事業費21% 包括的支援事業費・任意事業費21%	28,576 (29,207)	25,648	2,928	26,951	
一般財源	介護予防事業費12.5% 包括的支援事業費・任意事業費19.75%	23,832 (24,426)	21,814	2,018	21,891	
	合 計	136,021 (139,026)	122,079	13,942	122,459	

<歳出>

(単位 千円)

地域 支援 事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	介護予防 事業	介護予防一般高齢者施策事業費	介護予防ボランティア養成研修費、介護 予防啓発パンフレット等作成費、介護予 防教室開催委託費	4,033	2,460	1,573
介護予防特定高齢者施策事業費		非常勤職員人件費(1名)、車両管理費 (2台)、介護予防健診委託料、通所型介 護予防事業委託料	34,380	26,735	7,645	8,952
介護支援ボランティア事業費		臨時職員人件費(1名)、報償費、消耗品 費、印刷製本費、通信運搬費、ボラン ティア保険、電算機使用料、備品購入費	3,356	2,432	924	3,828
包括的支 援事業	地域包括支援センター 管理事業費	正規職員人件費(6名)、非常勤職員人件 費(9名)、協力機関業務委託料(9か 所)、事務費	90,176 (93,181)	87,139	3,037	91,198
	総合相談権利擁護事業 費	事務費、研修費、権利擁護啓発パンフ レット作成費	482	366	116	609
	包括的継続的ケアマネ ジメント支援事業費	ケアマネジメント指導研修費	298	105	193	493
任意事業	介護相談員派遣事業費	介護相談員活動報償費、研修費	1,266	952	314	1,799
	笑いによる健康増進事 業費	笑いの健康効果評価業務委託費	2,030	1,890	140	2,000
	合 計	136,021 (139,026)	122,079	13,942	122,459	

2 一般会計

<歳入>

(単位 千円)

介護予 防支 援事 業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	諸収入	介護予防プラン作成料	75,685	73,520	2,165	80,449
一般財源	一般財源	11,845	10,691	1,154	11,244	
	合 計	87,530	84,211	3,319	91,693	

<歳出>

(単位 千円)

介護予 防支 援事 業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	新予防給付マネジメント事業費	非常勤・臨時職員人件費(13名)、シス テムリース料、介護予防ケアプラン作成 委託料、介護予防パンフレット作成費	87,530	84,211	3,319	91,693
	合 計	87,530	84,211	3,319	91,693	

＜歳入＞ (単位 千円)

ポータル・介護支援事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	国庫支出金	地域ケア会議活用推進等事業補助金	46	46	0	—
	合	計	46	46	0	—

＜歳出＞ (単位 千円)

ポータル・介護支援事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	生活・介護支援サポーター養成事業	生活・介護支援サポーター養成事業委託料	46	46	0	—
	合	計	46	46	0	—

＜歳入＞ (単位 千円)

地域支え合い体制づくり事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	県支出金	地域支え合い体制づくり事業費補助金	1,030	818	212	—
	合	計	1,030	818	212	—

＜歳出＞ (単位 千円)

地域支え合い体制づくり事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	地域支え合い体制づくり事業補助金	街かどdeカフェ地域交流事業費 地域支え合い活動の拠点となるサロン 「おひさま」整備事業費	1,030	818	212	—
	合	計	1,030	818	212	—

＜歳出＞ (単位 千円)

成年後見制度普及支援事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	成年後見制度普及支援事業補助金	成年後見センターふたば荘運営補助金	1,000	1,000	0	1,000
	合	計	1,000	1,000	0	1,000

＜歳出＞ (単位 千円)

高齢者生きがい創出事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	高齢者生きがい創出事業費	高齢者生きがい創出事業委託料	2,000	1,905	95	2,000
	合	計	2,000	1,905	95	2,000

＜歳出＞ (単位 千円)

在宅介護支援事業	項目	内容	予算額(A) (当初予算)	決算額(B)	比較(A-B)	H27予算
	在宅介護支援啓発事業費	在宅介護支援啓発事業委託料	1,200	1,192	8	1,200
	合	計	1,200	1,192	8	1,200

平成27年度 プロポーザルの審査結果について

資料3

1 高齢者生きがい創出事業

業者名	事業内容	代表者	順位	得点	採否
黒島自治会	元気高齢者のまちづくり推進事業 ～健康寿命延伸、コミュニティー再生～	会長 日野 幸彦	1	67.14	採択
(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー四国事務所	プロに学ぶ落語教室	四国事務所長 覚野 公一	2	66.14	
白井歌声喫茶グループ	合唱、元気体操などを通じた地域交流活動	代表 近田 浩	3	65.86	
愛媛医療生活協同組合	高齢者向け健康体操教室	理事長 谷井 実	4	65.71	
新居浜医療福祉生活協同組合	お手玉引き受け隊	理事長 佐々木 龍	5	65.43	不採択
西町長生会	高齢者の介護予防、健康増進を目的とした地域の三世代交流事業	会長 佐々木 章夫	6	64.86	
ボランティアグループなの花	高齢者サロンの運営とボランティア活動	会長 森田 元治	7	64.86	
新居浜市老人クラブ連合会 女性部	生き生きシニア合唱団活動	女性部長 明石 秀美	8	64.29	
平形自治会	高齢者サロン（交流カフェ）事業	会長 永井 昭憲	9	63.00	

2 在宅介護支援啓発事業

業者名	事業内容	代表者	順位	得点	採否
新居浜医療福祉生活協同組合	市民参加型「仮想」地域ケア会議	理事長 佐々木 龍	1	70.43	採択
愛媛医療生活協同組合	「ご近所(地域コミュニティー)の力を考える」講演会	理事長 谷井 実	2	63.14	
NPO法人ひらめき	講演会及びケアラズカフェ（コミュニティーサロン）運営	代表者 小西 孝典	2	63.14	

3 一般高齢者介護予防教室開催業務

事業者名	代表者	順位	得点	採否
新居浜医療福祉生活協同組合	理事長 佐々木 龍	75.825	1	採択
社会福祉法人すいよう会	理事長 渡辺 由美子	75.375	2	不採択
社会福祉法人三恵会	理事長 太田 恵理子	68.925	3	不採択
ジェイエムシー株式会社	代表取締役 仁木 尚詩	65.375	4	不採択
株式会社東京ネバーランドえひめ	代表取締役 西山 修	64.125	5	不採択
ESTcorporation	代表取締役 清水 史浩	60.9	6	不採択

平成 27 年度事業の進捗状況について（新規事業）

1 認知症高齢者地域支え合い事業

（1）目 的

認知症になっても住み慣れた地域で尊厳を持ちながら穏やかに生活できるよう、市民誰もが認知症について正しく理解するとともに、地域全体で認知症高齢者の生活を支援していく体制が必要となっている。このようなことから、認知症に関する啓発事業を推進し、協力関係機関によるネットワークを構築することで、認知症予防や徘徊高齢者の支援体制の整備など認知症高齢者やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指す。

また、地域住民が主体となり、自らの地域の認知症高齢者の見守り、安否確認、徘徊者の保護や捜索を行うネットワークづくりなど、地域の助け合い・支え合い活動の取り組みについて、市内にモデル地域を設定して、先進的・パイロット的事業として支援することにより、市内の各地域にその成果を普及させることを目的として、認知症高齢者地域支え合い事業を実施する。

（2）実施主体

新居浜市

なお、3の事業内容のうち、（3）については、適切な事業運営が確保できると認められる校区連合自治会又はそれに代わる地域組織に委託し実施するものとする。

（3）業務内容

- ① 認知症高齢者の徘徊に対応するために、警察や介護サービス事業者、交通機関等を含め、市民が幅広く参加する徘徊高齢者の捜索・発見・通報・保護のためのネットワークづくりを進める。
- ② 認知症は、早期に発見され、適切な対応をすることで、認知症になってもその人らしく生活できるといわれており、より多くの人に認知症についての正しい知識を普及させるため認知症啓発事業を推進する。
- ③ モデル地域（小学校区範囲）において、地域住民が主体となり、自らの地域の認知症高齢者の見守り、安否確認、徘徊者の保護や捜索を行うネットワークづくりなど、地域の助け合い・支え合い活動を先進的・パイロット的事業として、市内の各地域にその成果を普及させることを目的として実施する。

（4）委託期間

契約締結の日から平成 28 年 3 月 31 日

（5）業務委託限度費

501,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

認知症徘徊 即座に搜索

新居浜・角野地区

認知症患者の徘徊(はいかい)による行方不明を地域力で防ごうと、新居浜市角野地区の福祉関係者が「すみの見守り・SOSネットワーク協議会」をこのほど設立した。住民が登録サポーターとなり、区内の消防団や病院、金融機関など約30の協力団体との連携で、不明者の早期発見を目指す。

市によると、同様の取り組みは全国で広がっているが、多くは行政主導で、住民主体の組織は珍しい。設立のきっかけは2013年11月に近隣地区で、徘徊による行方不明者が約4カ月後に

遺体で発見された事案だった。14年4月から角野地区の社会福祉協議会が中心となってサポーター策の具体的な検討を始め、見守り推進員、民生委員、自治会代表ら15人で今年4月上旬に協議会を立ち上



すみの見守り・SOSネットワークの流れ

8月本格運用 住民主体に連携組織

げた。

地区住民に、高齢者への声掛けや徘徊者捜索活動に当たる「ふれあいサポーター」とな

ってもらおう一方、徘徊の恐れがある高齢者の家族に、高齢者の名前や年齢、身体的特徴などの情報を事前登録してもらい、行方不明の場合、サポーターや協力団体にメールやファクスで連絡して一斉搜索に当たる。

登録者は5月中旬現

在、サポーター、高齢者ともに数人とどまらるが、登録高齢者100〜200人、サポーター千人を目指す。8月に本格運用を初め、年内に大規模な捜索訓練も検討する。

市地域包括支援セン

ターによると、市内の認知症高齢者は人口の約4%に当たる約5千人で、角野地区は推計約500人。新居浜管内の14年の認知症高齢者搜索願の受理件数は13件あった。

協議会の藤田俊治会長は「住民がスクラムを組んで初期段階で対応に当たれば、速くに

(末光敬)



地域の高齢者にチラシを配り、ネットワークへの登録を呼び掛ける藤田会長(左)

2 高齢者ふれあいカフェ事業費

(1) 目的

高齢者が、要介護状態や認知症になっても、できる限り住み慣れた家や地域で安心して暮らし続けられるようにするためには、住民主体の支援の充実・活用が重要である。地域の高齢者が、気軽に立ち寄り、人との交流を図ることは、孤独感の解消になり、また健康づくりに取り組むことで、健康寿命の延伸が図られる。住民主体のふれあい活動を支援することにより、高齢者にやさしい地域社会づくりに取り組む。

(2) 事業内容

個食になりがちな高齢者に対して、健康に配慮した献立によるランチを低額で提供し、会食を楽しむ。また、笑いヨガなどの健康づくりや口腔ケア、笑いにより脳を活性化させる落語や、死生観・人生観を考える終活講座、歌ごえ喫茶や介護保険講座など、毎回テーマを設けた活動を行う。高齢者の健康づくり、生きがいつくりとともに、ふれあいの場所づくりとして、月1回程度（年間12回）カフェを開設する。

(3) 事業費 500,000円

(4) 委託先 NPO法人新居浜ほっとねっと

心はずむ講座 と おいしいランチ

😊 食べる! 学ぶ! えがお交流会

参加申込書は 裏面です

参加費 お1人 1回 ¥300

定員 毎回 20名程度

■時間

11時~12時

講座

12時~13時

昼食 交流会

講師と一緒に食事をします



2015年4月には開業式
2016年3月の講座には修了式あり
(約10分程度)

2015年	講座内容
4月 8日(水)	えがおで健康! 笑いケア
5月 15日(金)	年金の大事なおはなし
6月 17日(水)	人気落語家による落語
7月 24日(金)	エンディングノートで 豊かな人生
8月 19日(水)	人気落語家による落語
9月 18日(金)	唄おう! 思い出のメロディー
10月 1日(木)	エンディングノートで 豊かな人生
11月 11日(水)	お口の健康 しっかり口腔ケア
12月 9日(水)	えがおで健康! 笑いケア
2016年	
1月 15日(金)	知っておきたい 介護保険のおはなし
2月 10日(水)	カラダすっきり! 健康体操
3月 9日(水)	唄おう! 思い出のメロディー

講座により
準備物が必要です
くわしくは裏面を
ご確認ください



立川平林さんの
落語で大笑い!



知ってトクする講座が
盛りだくさん♪



ところ コミュニティ・カフェ ほっとねっと

〒792-0017 新居浜市若水町2-9-17nikkoステーション2F

問い合わせ 090-7149-7353 (イトウまで)

H27新居浜市協働事業 住民主体の高齢者の交流の場づくり事業

■主催: NPO法人新居浜ほっとねっと ■担当: 地域包括支援センター

新居浜市地域包括支援センター協力機関一覧

No.	マーク	協力機関	住 所	担当校区	法人名	高齢者人口	
1		プラチナガーデン	新居浜市一宮町2-6-72	垣生・高津・浮島	社会福祉法人 はびねす福祉会	6,246	垣生1,245 高津3,736 浮島1,265
2		アソカ園	新居浜市郷3-16-58(なの花内)	神郷・多喜浜・大島	社会福祉法人 すいよう会	4,512	神郷3,099 多喜浜1,267 大島146
3		医師会	新居浜市庄内町4-7-54	新居浜・宮西	社団法人 新居浜市医師会	2,796	新居浜1,479 宮西1,317
4		十全	新居浜市北新町1-5	惣開・若宮	一般財団法人 積善会十全総合病院	1,468	惣開814 若宮654
5		きぼうの苑	新居浜市西の土居町2-8-12	金子・金栄	社会福祉法人 三恵会	4,407	金子2,933 金栄1,474
6		三恵	新居浜市菘生67-60	中萩・大生院	社会福祉法人 三恵会	7,387	中萩5,989 大生院1,398
7		おくらの里	新居浜市御蔵町11-23	角野	社会福祉法人 常美会	3,870	角野3,870
8		ふたば荘	新居浜市船木959-3	船木・泉川	社会福祉法人 ふたば会	5,968	船木2,385 泉川3,583
9	無印	社会福祉協議会 別子山分室	新居浜市別子山乙241-6	別子山	社会福祉法人 新居浜市社会福祉協議会	93	別子山93

※ ブランチの見直しについて

地域住民から、ブランチへ相談に行くには、距離がありすぎる。また、自分たちの校区に介護サービス事業所が新しく出来たので、そこが地域の相談窓口になってくれたら良いのに等の意見があります。

地域包括支援センター協力機関(ブランチ)は、地域包括支援センターが開設される以前から、在宅介護支援センターとして高齢者や家族への相談・支援窓口として、地域に密着した活動をしており、地域から信頼される社会資源として機能しております。

しかし、ブランチのある事業所が、生活圈域外に所在するなど、市民の利便性を考えれば、見直しが必要な地域があると考えています。

新居浜市地域包括支援センター協力機関（ブランチ）業務委託内容

1 業務内容

(1) 総合相談支援業務（休日・夜間対応含む）

ア 初期段階での相談対応

当事者、家族・親族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じて、様々な相談があるが、① 信頼関係の構築、② 的確な状況の把握、③ 緊急性の判断、④ 情報の提供、⑤ 記録に留意しながら、初期段階での相談対応を行う。（地域包括支援センター業務マニュアルH19.9版 P55～58 の 4.2.1 参照）

イ 継続的・専門的相談

専門的・継続的な関与又は緊急の対応が必要と判断した場合には、訪問（アウトリーチ）による相談や情報収集、声援計画の策定、サービス提供機関や専門相談機関へのつなぎ、継続支援のためのモニタリングなどの支援を行う。（地域包括支援センター業務マニュアルH19.9版 P58～63 の 4.2.2 参照）

(2) 新居浜市地域ケアネットワーク推進協議会運営業務（別紙山校区を除く）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的に、次の内容で実施するものとする。

- ① 地域のニーズや課題の把握に努め、情報共有などの連携を図る。
- ② 地域の助け合いや支えあいの活動を促進する。
- ③ 社会資源の活用や公的保健福祉サービス利用等の啓発活動に取り組む。
- ④ 開催場所、開催日時、参加者、会議内容について、適正に記録管理を行うこと。

(3) 認知症サポーター養成講座補助業務

認知症サポーター養成講座の講師及び演劇者（協力者）

2 業務従事者

業務従事者は、保健師又は介護保険施設等に勤務経験のある看護師、社会福祉士又は高齢者保健福祉に関する相談業務等に3年以上従事した社会福祉主事及び介護支援専門員のいずれかの資格を有する者で、他の業務と兼務可とする。

3 委託料

(1) 総合相談支援業務

別子山 ￥1, 205, 013－（消費税及び地方消費税を含む。）

別子山以外 ￥1, 525, 000－（消費税及び地方消費税を含む。）

(2) 地域ケアネットワーク推進協議会運営業務（別子山校区除く。）

1回につき30,000円（消費税及び地方消費税を含む。）但し、240,000円を限度とする。別子山校区については、毎月実施しているが、総合相談支援業務に委託費が含まれている。

(3) 認知症サポーター養成講座補助業務

ア 認知症サポーター養成講座講師（事前打ち合わせ・準備を含む）

1回あたり ￥10,000－（消費税及び地方消費税を含む。）

イ 認知症サポーター養成講座劇演者（事前打ち合わせ・準備を含む）

1回あたり ￥6,000－（消費税及び地方消費税を含む。）